

MENU ボディオールペイント

フレッシュ感やオリジナリティに欠かすことのできないリノベーションのメインメニューといえは、やはりオールペイント。カラー番号が設定されているものであればメーカーや車種問わずにオーダーできるので、インポート系のレアカラーで仕上げるといったこだわりもOKだ。なお、ドア開口部など隠れた部分まで同色で仕上げられるフル塗装(58万5000円〜)以外に、リーズナブルさを追求してドア脱着式のボタン塗装(50万8000円〜)も用意。こだわり派のためにオリジナル調色も相談可能としているので、これを機会にオンラインワン台へごと仕上げよう。

MENU インテリアペイント



使い込んでヤレてしまったインテリアを手軽にイメージチェンジするペイントリノベーション。新品交換も選択肢のひとつだが、フェイスのように新型仕様へカスタムできないインテリアはオリジナリティ追求がベストだろう。オールペイントの同時オーダーであれば、ルームミラー8000円、フロントドア内張り3万1000円、ルーフ7万7000円、ダッシュボード6万2000円などリーズナブルな価格もウレシイ。シートもファブリック専用の塗料でペイントするのでシートカバーいらずだ。カラーオーダーはもちろんのこと、パートによって2色塗り分けにも対応しているのも見逃せないポイント。

MENU I→IV型フェイスチェンジ



リノベーション効果を最大限に発揮するポイントといえは、やはり最新モデルであるIV型へのフェイスチェンジ。I型からIV型へ純正パーツでチェンジしようとするは、ハコゲン仕様でもパーツ代金だけで18万4000円(ナロー)となってしまいます。さらに高額の仕様が加わってしまう。しかし、寺本自動車商会ではオールペイントの同時オーダーに限り作業工賃3万1000円というプライス設定でユーザーの懐をバックアップしてくれる。単体作業のオーダーであれば作業工賃6万2000円となるので、フェイスチェンジとオールペイントを兼ねたユーザーにとっては見逃せないチャンスだ。もちろん、好みのエアロでフェイスチェンジといったオプションカスタムにも対応している。

I型リノベーション! TERAMOTOの 変身メニュー



I型

MENU ガラス入れ替え

こだわり派にとってインテリア魅せのラストカスタムとなるクリアガラス入れ替えでも対応。また、ブルー、グリーン、イエロー、ピンクといったカラーフィルムによるアレンジも対応しているので、せっかくならフレッシュさをアピールするボディカラーに際してコーディネートしておきたい。オールペイント時のガラス脱着アリの場合だと、リア5面のクリアガラス入れ替えて13万3640円、カラーフィルム施工が6万8800円となっている。



MENU 下回りペイント



雨天時の走行や融雪剤による塩害など、非常に厳しい環境を強いられる下回り。せっかくボディをリノベーションしても、ふとした拍子に塩害を感じてしまうポイントでもあるので、忘れず対処しておくのがベターだろう。ハイエースリノベーションではオールペイントの同時オーダーで下回りペイントもリーズナブルにプラスで提供。タイヤハウスは7万6000円、シャーシ塗装(5万7000円)、ラジエター塗装(8000円)などが用意される。

IV型イメージチェンジ術

200系登場から早11年、性能面は問題ないとしても、さすがにI型ではいろいろとシンドイ。そこで、T-REVでおなじみの寺本自動車商会が、数々のリノベーションメニューを展開。I型だって最新のIV型に負けなくらいブラッシュアップできるのだ。さらにはIV型も個性的にイメージチェンジできるワザがあるってんだから見逃せない!!
協力>>寺本自動車商会 ☎072-875-8088 www.teramoto.biz
PHOTO>>伊勢馬場達次 TEXT>>四馬力



IV型

MENU ホールペイント



腐食が進んでくたびれたイメージとなってしまうホールも新品以上の質感へと仕上げるのが可能なホールペイント。ホールのコンディションや使用条件などによってオーダーできる内容も変わってくるが、ウレタン塗装(1万7500円〜)やパウダー塗装(2万3000円〜)、さらにはアルミ独特の光沢感で輝きをアピールできるメタル調塗装(2万5000円〜)などといったリノベーションメニューが用意される。もちろん、カリ傷や歪みが生じてしまっている場合でも修正まで手がけているため問題なし。同一モデルでもペイントアレンジだけでイメージは大きく変化するので、コイツはI→IV型ユーザー全員必見!!

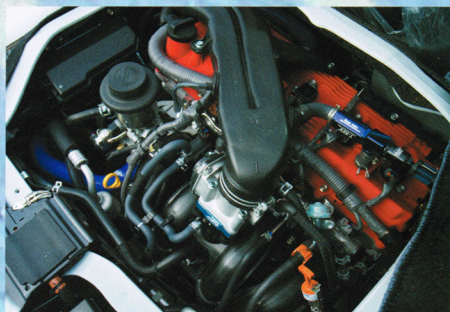
MENU 全身ラッピング



インジェット出力を駆使した多彩な表現力。シートをはがすだけでノーマル復帰可能なボディのリボンカスタムがラッピング。メッシュ状に処理されたシートをウィンドーに利用することで視認性も確保できるため、インパクト重視の仕上がりもネラっていきなり要チェックだ。もちろん、全身ラッピングだけでなくステッカー1枚や部分ラッピングといったオーダーもOK。気になる価格はノーマルモデルの幅で85万5000円となっている。



MENU 機能性アップ



総合窓口である寺本自動車商会は「T-REV」などの機能パーツをリリースする以外に、ロードカスタムやエアロパーツ取り付け、各種メンテナに車両販売まで手がけるハイエース専門店。今回紹介するリノベーションカスタムと同時にロードカスタムやエアロパーツ取り付け、各種メンテナに車両販売まで手がけるハイエース専門店。今回紹介するリノベーションカスタムと同時にロードカスタムやエアロパーツ取り付け、各種メンテナに車両販売まで手がけるハイエース専門店。今回紹介するリノベーションカスタムと同時にロードカスタムやエアロパーツ取り付け、各種メンテナに車両販売まで手がけるハイエース専門店。

購入してから年月が経過するほど、ヤレと古にも生まれ変わってくるクルマの宿命。マイナーチェンジしてもサイド&リアに大きな変化がない200系は、フェイスチェンジで比較的手軽に対策できるとはいえず、やはりI型だと塗装面やインパネを中心に、した各部の劣化が気になることだ。そこで、注目してもらいたいのが、「T-REV」で知られる寺本自動車商会が用意した、ハイエースリノベーション。コイツは愛着のある200系を放置することなく、イマどき仕様が進化させるリフレッシュカスタムと、ボディやインテリア、ホイールに下回りまで対象にした充実オールペイントメニュー、さらにインパネ・重視派に向けて、構成員の高まるラッピングメニューを軸としたものとなっている。もちろん、各メニューは、2年や予算に応じて細やかなアレンジが可能だ。塗料によつて松・竹・梅と3タイプを備え定としたオールペイントは、ドア脱着を省いてプラスダウンした「パツタン」塗装も設定するほか、ルームミラーひとつからでもペイントオーダーOKというフレキシブルさ。これなら10年もの年数が経過したI型リフレッシュのみならず、II型やIII型をへビーに使いこなして部分的なヤレが気になるユーザーでも有効活用できるだろう。なお、ハイエースリノベーションの各カスタムは、仕上がりレベルを高めるために提携するプロショップたちが個々に担当。メンテナンスに施す寺本自動車商会に一任することで、ユーザーの利便性をアップや密なコミュニケーション環境を構築しているワケだ。また、見逃せないのは施工時の無垢車。軽カチやコンパクトカーでなくハイエースが用意されるので、仕事に使用している場合でも安心して施工が任せられるのだ。乗り換えかリフレッシュか悩んでいるなら、同じ予算で庄巻のオリジナリティ実現も夢じゃない、リノベーションカスタムにぜひチャレンジして欲しいぞ。